

地域の概要

1. 基礎データ

会津美里町

人口：18,056人
(R7.3.31時点)

面積：276.33km²

過疎地域等指定：過疎、山村

高齢化率：42.1%

地域公共交通会議開催数：4回
(R7.4~R8.1)

2. 公共交通の概況

【乗合バス】

路線バス

運行：会津乗合自動車(株)

路線：3路線4系統

【鉄道】

運行：東日本旅客鉄道(株)

路線：在来線1路線

【タクシー】

①一般タクシー

運行：会津交通株式会社

エリア：町内全域

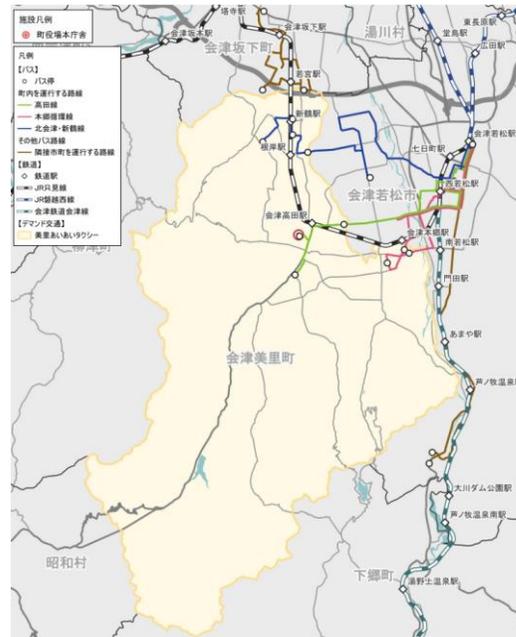
②デマンドタクシー

運行：株式会社会津美里振興公社、会津交通株式会社

エリア：町内全域

3. 公共交通の問題点

- (1) 人口減少、少子高齢化の進行による影響もあり、公共交通の利用者数が低迷している。
- (2) 運行欠損の増加によりバス路線維持のための財政負担は年々増加しており、将来的に持続していくことが困難となる。
- (3) 限られた交通資源で利便性の向上等に取り組んでいるものの、依然として広域路線（鉄道・バス）の利用状況が伸び悩んでいる。
- (4) 限られた資源（人・物等）の中で、町内全域を対象にデマンドタクシーを運行しているが、ドライバーの高齢化や担い手不足により、サービスレベルの維持の困難となることが懸念される。
- (5) 町内の公共交通に関する情報は、これまで町や交通事業者がそれぞれ発信していたが、公共交通の利用に繋がる総合的な公共交通の情報発信のための整備が必要となる。



調査名	結果概要
町民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 町民の買物は7割、通院は5割が町内で済んでおり、一定程度、町外（主に会津若松市）への移動が存在。 町民の多くが過去30日以内に公共交通を利用しておらず、利用者はJR只見線および路線バスともに1割に満たない。 「美里あいあいタクシー」は、一定の高評価を得ているが、「JR只見線」や「路線バス」は「満足度が低く、重要度が高い」項目が多い。 利用理由は「通勤通学」や「認知」の不満が多く「隣接自治体との移動利便性の向上」や「総合的なマップ・時刻表の導入」の要望が多い。
高校生アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 町内の高校への通学は1割程度で、約8割が会津若松市の高校に通学。 町内と会津若松市の通学時間は比較的近い傾向にあるが、会津若松市への通学時間が増えている。 公共交通の利用状況として通学時は約7割、通学以外では約4割程度。 通学手段は主に「JR只見線」だが、天候が悪い日は「会津バスの路線バス」の利用も増加傾向。
美里あいあいタクシー利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 主に「通院・通所」のために用いられている（次いで買い物、金融機関）。 回答者の約2割が「不満がある」と答えており、その理由としては「運行時間」「目的地（町外）」に関する不満が比較的多い。 利用したい時間がないと不満を抱えている回答者のうち「17時台」の運行を望む声が多い。
事業者アンケートヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス（3路線）は「会津若松中心市街地への移動需要の維持」が必要と感じつつも「ニーズに合わせた運行頻度の調整」や「美里あいあいタクシーとの連携」「定期助成・キャッシュレス決済の推進」などが課題。 美里あいあいタクシーは「乗合車の向上」や「アプリの利用促進」などが大きな課題でありつつも「運行時の利用者の待ち時間の短縮」や「ニーズに合わせた運行頻度の調整」などの改善が必要。
庁内関係者等アンケートヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 観光・教育・福祉など様々な面で限られた移動手段を有効活用した連携が必要であるという認識の共有を行った。 特に公共交通の維持のためには「利用者数の確保」が重要であり、観光案内、介護、学校教育等の様々な場面で路線バスをはじめとする公共交通の必要性・有用性を伝えるなどの連携を行う。
住民意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> 美里あいあいタクシーは「運行時に予約できない」ことや、運転手によって「乗降の位置が異なる」など、改善の余地がある。 特にバスの運行内容（時間、料金、使いやすさ）を知らない人も多い可能性があり、しっかりとした周知（体験会や出前講座など）が必要。 イベント時の移動手段に活用してもらおうなどの連携が必要。 各部署間の行政・施設等が運行する移動サービスプラットフォーム、トラックなどの二次交通について、広い範囲で利用できるような柔軟な対応が必要。

会津美里町地域公共交通会議

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

- 1 施策の検討
- 2 施策の事業化
- 3 計画の取りまとめ
- 4 パブリックコメントの実施
- 5 地域公共交通会議の開催（4回）

【今後予定している内容】

- 議会に対する説明
- 地域公共交通計画の策定

調査結果概要

1 施策の検討

- ・令和6年度に実施した公共交通利用者等へのアンケート及び交通事業者へのヒアリング調査を踏まえ、基本方針及び具体的な施策を設定した。

<公共交通の課題>

- ・広域路線（バス・鉄道）の利用者確保が必要
- ・美里あいあいタクシーのサービスの磨き上げが必要
- ・公共交通利用に関する情報提供の充実化が必要
- ・公共交通を守り支える意識の醸成が必要

<基本方針>

- ① 町民の生活と交流を支える地域公共交通の構築
- ② 利用者ニーズに合わせた便利で快適な地域公共交通の構築
- ③ まちづくりと連動した地域公共交通の構築
- ④ 将来にわたり持続可能な地域公共交通の構築

<具体的な施策>

(1) 移動・サービスの確保・維持等に関する施策

- ・広域路線「JR只見線」の利便性向上
- ・広域路線「路線バス」の利便性向上
- ・町内路線「美里あいあいタクシー」の事業性の向上
- ・広域路線⇄町内路線間の移動促進
- ・移動サービスの担い手の確保

(2) 利用環境等の改善に関する施策

- ・支払い方法の充実化及び運賃負担の軽減施策
- ・交通拠点の維持・活用
- ・総合的な公共交通情報案内の整備
- ・ターゲットに合わせた情報発信環境の整備
- ・公共交通利用意識の醸成に向けた出前講座の開催

今後の取組みについて

【スケジュール】

- 3月 議会に対する説明
- 3月 地域公共交通計画の決定

【地域の交通の目指す姿】

当町の公共交通政策のマスタープランとなる「会津美里町地域公共交通計画」を策定し、安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指す。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月15日

協議会名：会津美里町地域公共交通会議

評価対象事業名：会津美里町地域公共交通計画策定事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の検討 ・施策の事業化 ・計画の取りまとめ ・パブリックコメントの実施 ・地域公共交通会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に実施した公共交通利用者等へのアンケート調査及び交通事業者へのヒアリング調査を踏まえ整理した課題を踏まえ、基本方針を検討した。 ・施策については、地域公共交通会議での協議等を踏まえ、具体性のある内容に整理することができた。 ・課題の整理、基本方針及び具体的施策を検討し、これらを盛り込んだ計画案を作成した。 	<p>計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>今回の事業で、当町の公共交通の核となる考えである安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指すための、実現性があるより具体的な施策を取り入れた計画案を作成することができた。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>広域路線（鉄道・バス）と町内路線（デマンド交通）との接続性を高める施策の展開や、町内路線であるデマンド交通の事業性向上、さらには、公共交通を必要とするターゲット層別（学生や高齢者）の情報発信等の施策を公共交通会議及び関係機関と連携のうえ展開していく。</p>
<p>【二次評価】</p>		